

# Takara standard

## 小型電気温水器 工事説明書

保証書別添

洗面組み込み型電気温水器  
先止め式 減圧弁、逃し弁内蔵型 屋内設置専用



型式
EH-15G2
EH-15GU2 オンディーヌ薄型キャビネット専用

## もくじ

### 工事の前に

安全上のご注意	2
施工上のご注意	3
外形寸法	4

### 据付工事

据付工事	4
凍結予防工事	10
電気工事	11

### 工事完了後の確認

試運転	11
試運転完了後のお願い	裏表紙
工事完了チェックシート	裏表紙

## 据付、付帯工事される方へ

- ◆この製品の性能、機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい設置工事が必要です。この説明書に記載されていない方法や保証書と適合しない内容で工事された場合、また、当社指定の純正別売部品を使用せずに工事された場合、事故や故障が生じたときは責任を負いかねます。
- ◆次の法律、基準、条例などに従って、必ず資格のある人が設置、施工してください。
  - ・建築基準法
  - ・電気設備技術基準、および内線規程
  - ・消防法に基づく火災予防条例、および当該地区の火災予防条例
  - ・水道法、および当該地区の水道事業の条例、規定
- ◆この工事説明書は、試運転完了後に取扱説明書と共にお客様にお渡しください。
- ◆試運転完了後、必ず「工事完了チェックシート」項目内のチェック欄、販売店様、工事店様記入欄を記入してください。

# 安全上のご注意

- 据え付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく据え付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 図記号とその意味は、次のようになっています。

 <b>禁止行為</b> (絶対に行わない)	 <b>行為の指示</b> (必ず指示に従い行う)	 <b>アース線接続</b>
--	---	---

## 警告 誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容

	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>必ず温水器のアース工事は、D種接地工事を行う。</b> アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話などへの接続や共用アースを行わない。工事は「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って、電気工事士が行う。故障や漏電のときに感電するおそれがあります。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>上水道直結の配管工事は、当該水道局(水道事業管理者)の認定水道工事業者が指定された配管材料を使用して施工する。</b> 事故、故障の原因になることがあります。</li> <li>● <b>漏電しゃ断器の動作を確認する。</b> 漏電しゃ断器が故障のまま使用すると、漏電のとき感電の原因になります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>温水器満水時質量に十分耐えられる場所に据え付ける。</b> 温水器が脱落し、けがをするおそれがあります。</li> <li>● <b>定格15A以上のコンセントを単独で使う。</b> 発熱して火災の原因になることがあります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>水、油、洗剤などがかかる位置に温水器用のコンセントを設けない。</b> 火災や感電の原因になります。</li> <li>● <b>ガス類や引火物の近くに据え付けない。</b> 発火することがあります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>交流100V以外の電源と接続しない。</b> 火災や感電の原因になります。</li> <li>● <b>湿気の多い場所には据え付けない。</b> 火災や感電の原因になります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>電源コードを傷付れたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。</b> 発火することがあります。</li> </ul>	

## 注意 誤った取り扱いをしたときに、傷害を負う可能性、および物的損害の発生が想定される内容

	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>通電はタンクを満水にしてから行う。</b> 過熱し、故障の原因になることがあります。</li> <li>● <b>給水配管接続前にゴミが排出されなくなるまで給水配管止水せん(ストレーナ付き)を開けて通水し、給水配管止水せんのストレーナを掃除してから接続してください。</b> 故障や水漏れの原因になることがあります。</li> <li>● <b>必ず水道法の飲料水水質基準に適合した水道水を使用する。</b> 機器の故障や水漏れの原因になることがあります。</li> <li>● <b>膨張水は必ず排水処理する。</b> 水漏れが起きた場合、大きな被害につながるおそれがあります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>凍結予防対策を行う。</b> 配管や機器が破損する場合があります。</li> <li>● <b>壁面へのネジ固定は、ネジが壁中のラス網と電氣的に絶縁した状態で行う。</b> ネジとラス網との接触部が発熱して火災の原因になることがあります。</li> <li>● <b>温水器を必ず付属の固定金具及び、ビスを使用して固定する。</b> 地震などで、脱落し、けがをするおそれがあります。</li> <li>● <b>工事完了後、必ず通水し、温水器本体や各配管より水漏れがないことを確認する。</b> 水漏れが起きた場合、大きな被害につながるおそれがあります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>温水器に強い力や衝撃を与えない。</b> 故障や水漏れの原因になることがあります。</li> </ul>	

# 施工上のご注意

## 工事について

- ・この説明書に記載されていない方法や、保証書と適合しない内容で工事された場合、また、指定の純正部品を使用せずに工事された場合、事故や故障が生じたときは責任を負いかねます。
- ・工事作業中は手袋を着用してください。金属端面によるけがを防ぎます。
- ・この製品は交流100Vで動作する機器です。
- ・太陽熱温水器(ソーラー温水器)や他温水器との接続はできません。
- ・製品の上に乗ったり、体重をかけたりしないでください。製品が変形します。
- ・水は水道法の飲料水水質基準に適合した水道水を使用してください。水道水であっても塩分、石灰分、その他不純物が多く含まれている水質や酸性水質での使用は避けてください。井戸水、地下水、温泉水はスケールが付着しやすくなり、また温水器をご使用いただく期間の水質が常に水道法の定める水質基準内である担保が取れないため、使用しないでください。  
(水質に起因した不具合が発生した場合、無償保証できません。)
- ・給水圧力を確認し、最低必要水圧50kPa(流動時)、最高水圧750kPa(静止時)でご使用してください。750kPa(静止時)以上の場合、給水1次側に減圧弁を設けてください。ただし、自動水せんと接続する場合は、最低必要水圧100kPa(流動時)、最高水圧750kPa(静止時)でご使用ください。
- ・壁排水(PTラップ等)や直管配管の場合は据付することができません。
- ・EH-15GU2は“オンディーヌ薄型キャビネット”専用の温水器となりますので、他キャビネットには設置できません。
- ・キッチンに組み込む場合に、キャビネットを固定する部材(現地手配)が必要になる場合があります。「据付工事-本体の設置<キッチンに電気温水器を入れる場合について>」を参照してください。
- ・ストレーナ付きの給水配管止水せんを必ず使用してください。

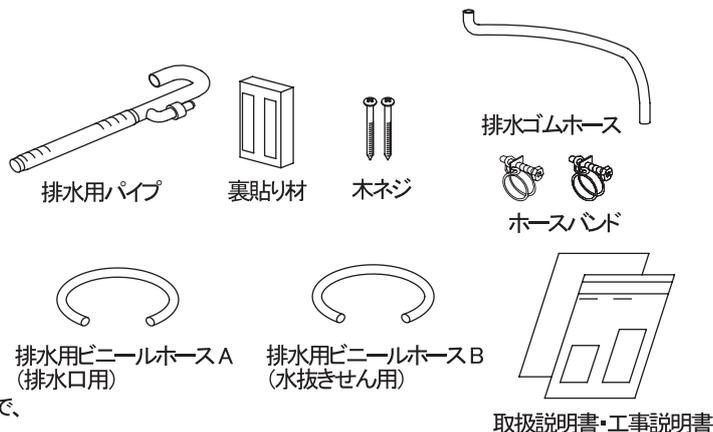
工事の前に

## 同梱付属部品の確認 ※次の部品が付属されています。開梱時に確認してください。

### ●EH-15G2、EH-15GU2の共通付属部品

部品名	数量	備考
排水用パイプ	1	
裏貼り材	1	
木ネジ	2	
排水ゴムホース	1	黒
ホースバンド	2	
排水用ビニールホースA※	1	φ8×400mm
排水用ビニールホースB※	1	φ9×250mm
取扱説明書	1	
工事説明書	1	

※排水用ビニールホースA、Bはタンク内の水の排水に使用しますので、取扱説明書・工事説明書と一緒にお客様にお渡しください。



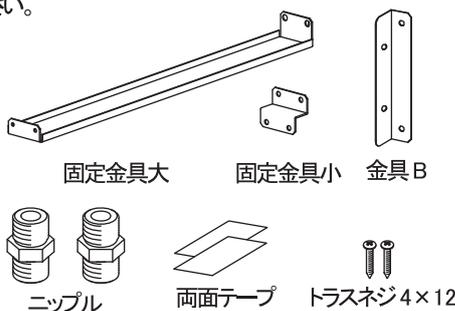
### ●EH-15G2の付属部品

部品名	数量	備考
固定金具大	1	
固定金具小	1	
金具B	1	
ニップル	2	G1/2×G1/2
トラスネジ4×12	2	
両面テープ	2	

#### ○別手配部品

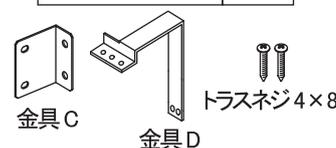
旧タイプの洗面化粧台に設置する場合、次の部品が必要となる場合があります。

必要部品:「ストラップSGチ」(コードNo.10139324) [据付工事-本体据付前の確認と準備]の項で確認してください。



### ●EH-15GU2の付属部品

部品名	数量
金具C	1
金具D	1
トラスネジ4×8	2



## 純正別売部品について

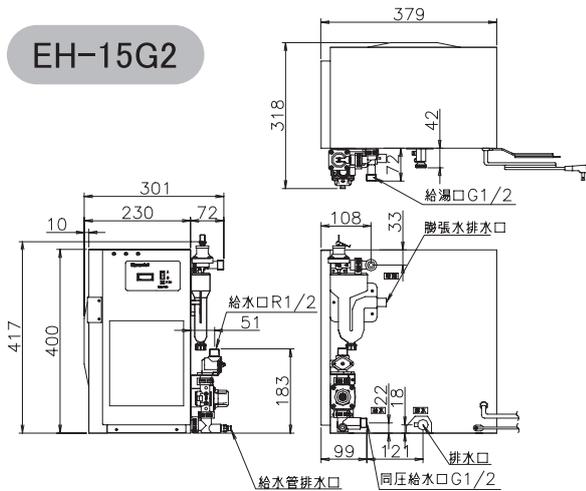
- ・フレキ管セットと洗面化粧台との組み合わせは、総合カタログの“小型電気温水器組込対応表”をご覧ください。
- ・排水セットEHはミニキッチン等に設置する場合に使用します。詳しくはミニキッチンの設置説明書または、排水セットEHに添付の取付説明書をご覧ください。
- ・純正別売部品につきましては、改良のためお断りなしに変更・追加する場合があります。

部品名	備考
フレキ管セットAN	3本セット(500mm、550mm、850mm)、パッキン6ヶ付
フレキ管セットBN	3本セット(300mm、500mm、550mm)、パッキン6ヶ付
フレキ管セットDN	3本セット(550mm、700mm、900mm)、パッキン6ヶ付
排水セットEH	排水アダプター-EH、排水ホース(2m)、取付説明書

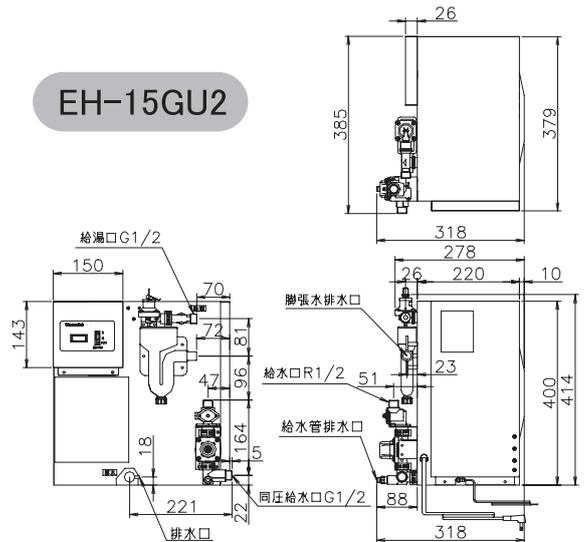
# 外形寸法

機種名	タンク容量	満水時質量
EH-15G2	15 L	約 23.1 kg
EH-15GU2	15 L	約 23.4 kg

EH-15G2



EH-15GU2



据付工事

## 据付工事—本体据付前の確認と準備

□ 本体を据え付ける前に、次の項目の確認と準備をしてください。

### ●洗面化粧台、湯水混合せんの確認

・洗面化粧台に付属されている、洗面化粧台と湯水混合せんの施工説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。

### ●電源コンセントの確認

・洗面化粧台のキャビネットを設置する所定の位置に、電気温水器専用の125V、15Aのアースターミナル付埋め込みコンセントがあることを確認してください。  
 ・電源は必ず適正に配線された100V用電源から取り、ミラーキャビネットのコンセントとは別系統にしてください。

#### 消防法 基準適合 組込形

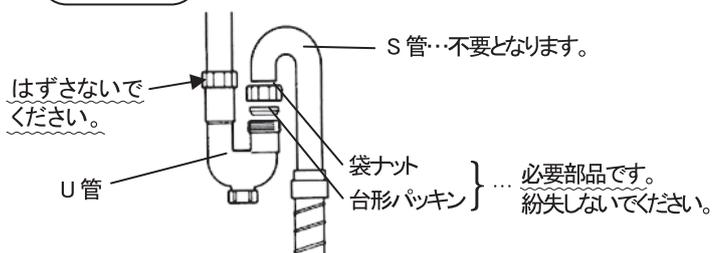
この温水器は消防庁告示第一号(対象火気設備等及び火気器具等の離隔距離に関する基準)に適合しています。建築物の可燃物からの離隔距離は0cm以上です。

可燃物からの離隔距離(cm)			
上方	側方	前方	後方
0	0	0	0

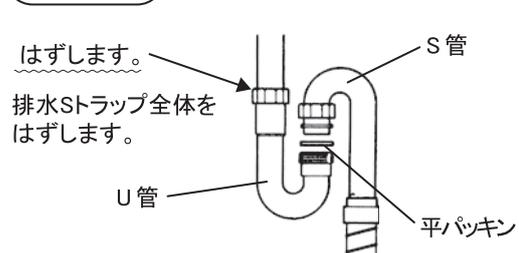
### ●洗面化粧台のストラップの準備

・Aタイプの場合、洗面化粧台についている排水ストラップのS管は、不要です。必ずしてください。  
 ・Bタイプの場合、洗面化粧台についている排水ストラップへは、取り付けできません。必ずしてください。  
 別途、取替用の「ストラップSGチ」(コードNo.10139324)の手配が必要となります。  
 ・ミニキッチン等はトラップの施工方法が異なります。詳しくはミニキッチンの設置説明書をご覧ください。

Aタイプ (U管が台形パッキン仕様の場合)

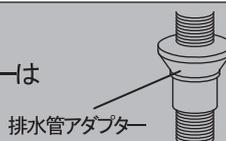


Bタイプ (U管が平パッキン仕様の場合)



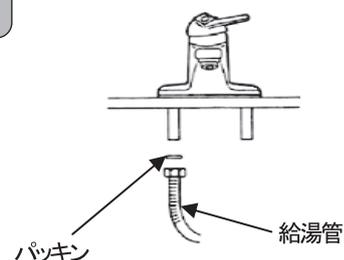
### ⚠ 注意

A、BタイプともS管に付いている排水管アダプターは必要部品です。紛失しないでください。



### ●給湯管の接続

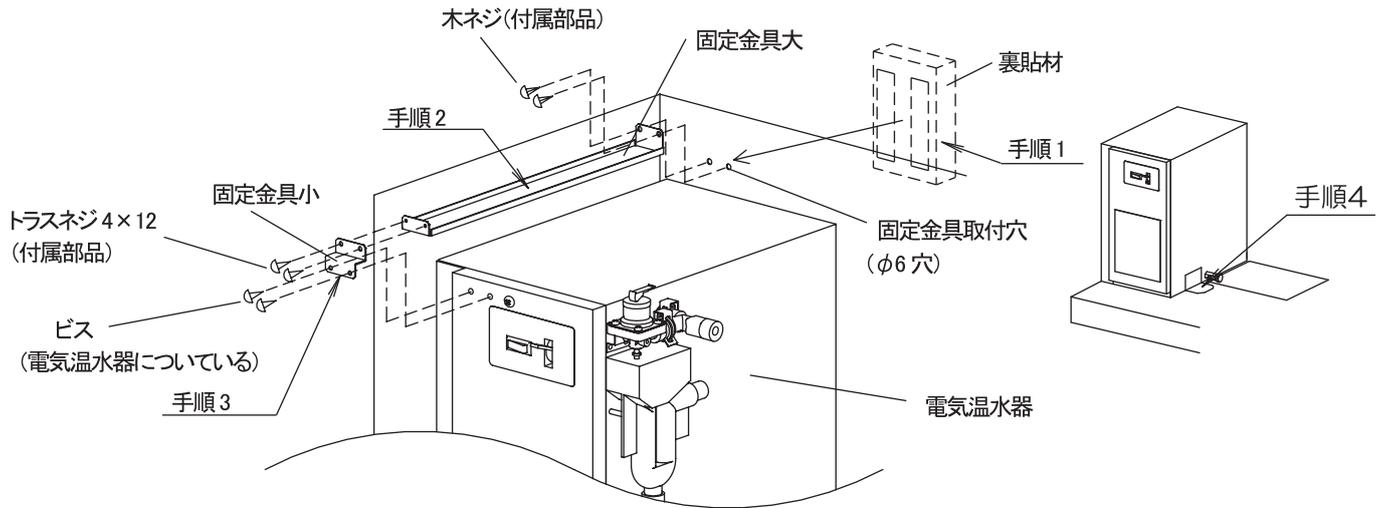
・60cm間口の洗面化粧台などでは、電気温水器設置前に給湯配管と湯水混合せんの接続を実施してください。  
 電気温水器設置後では、接続作業がしにくくなります。



# 据付工事—本体の設置

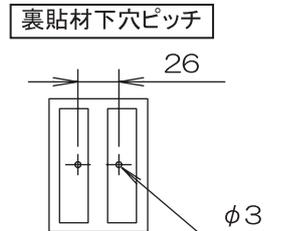
■EH-15G2、EH-15GU2 ではそれぞれ設置方法が異なりますので、それぞれの設置方法をご覧ください。

## ●EH-15G2をキャビネットへ設置する方法



### 手順1：裏貼材を貼り付け

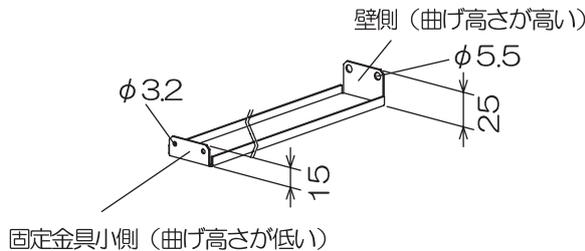
- ・キャビネットの左上に開いている固定金具取付穴2つが中心となるように、裏貼材を縦向きでキャビネット裏側に貼り付けてください。  
※裏貼材の貼り付け位置は、取り付け前にゴミや水滴をふき取ってください。ゴミや水滴がついていると両面テープがうまくつかないことがあります。
- ・右図のように、裏貼材にφ3程度の下穴を開けてください。  
※木製キャビネット等、固定金具取付穴がない場合、7ページの〈キッチンに電気温水器を入れる場合について〉項目の“固定金具取付穴を開ける”を参照し、穴加工してから施工してください。



### 手順2：固定金具大の取り付け（固定金具大には向きがあります）

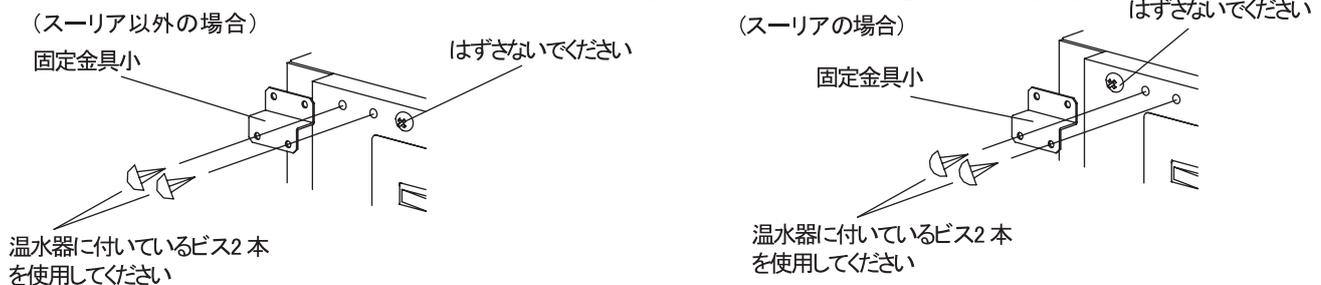
- ・固定金具大の壁側を固定金具取付穴に木ネジ2本(付属部品)を使用し、固定してください。

#### 固定金具大取付け向き



### 手順3：固定金具小の取り付け（キャビネットにより取り付け位置が異なります）

- ・電気温水器前板に付いているビスを使用し、下図を参考に左から1,2個目の穴に固定金具小を付けてください。  
※スーリアの場合、取付け位置が異なります。左から2,3個目の穴に固定金具小を付けてください。



- ・電気温水器をキャビネットの左はしに寄せて奥まで入れてください。しっかり奥まで入れないと、固定できないことがあります。
- ・固定金具大と固定金具小をトラスネジ4×12(2本:付属部品)を使用し、固定してください。

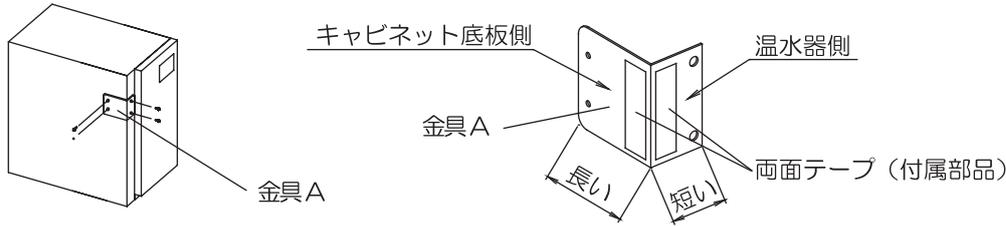
# 据付工事-本体の設置

## 手順4: キャビネット底板との固定方法

※ホーローキャビネットと木製キャビネットでは固定方法が異なります。それぞれの項目を参照ください。

### 〈ホーローキャビネットの場合〉

- ・金具Aをはずし、金具Aについているビスもはずしてください。
- ・取りはずした金具Aに両面テープ(付属部品)を貼り付けてください。



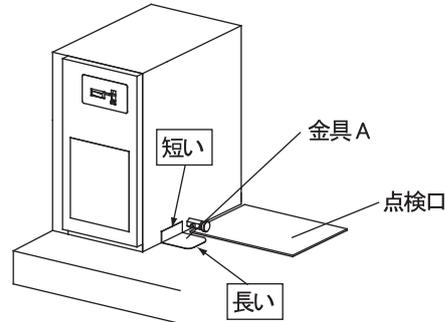
- ・金具Aを用いて電気温水器本体とキャビネットを固定してください。

※キャビネット及び電気温水器本体の金具A貼り付け位置は、取り付け前にゴミや水滴をふきとってください。

ゴミや水滴がついていると両面テープがうまくつかないことがあります。

※金具Aには取り付け向きがあります。短い方を温水器側としてください。長い方を温水器側につけるとケースの凸文字に干渉します。

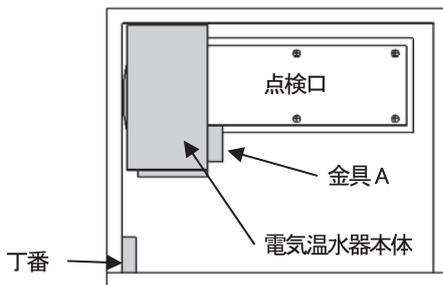
※金具Aはできるだけ点検口をさけて取り付けてください。



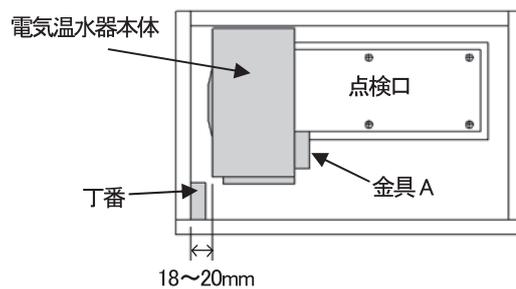
## ⚠ 注意

セレンティ、オンディーヌ、スーリア、木製キャビネット以外のキャビネットに設置する場合や、EH-15G等の旧製品との取替えをする場合に、奥行きが狭い等にて丁番が電気温水器本体へ当たるときは、下図(右)のように約18~20mm右へ寄せて設置してください。丁番に温水器が当たっていると扉の開閉ができなくなります。

通常の場合



丁番が電気温水器へ当たる場合

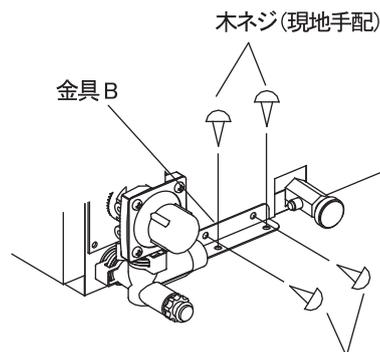
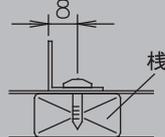


### 〈木製キャビネットの場合〉

- ・付属部品の金具Bを電気温水器側面下部に取り付け、木ネジ等(現地手配)で設置面に固定してください。

## ⚠ 注意

木製キャビネットの場合は、固定面に棧がある仕様になっていることを確認してください。



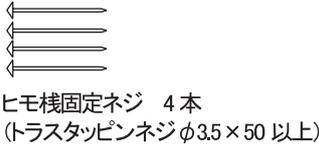
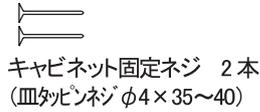
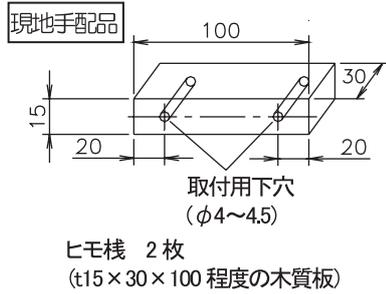
電気温水器のビスを一旦はずして金具Bを取り付けます。

# 据付工事-本体の設置

## 〈キッチンに電気温水器を入れる場合について〉(EH+15G2のみ)

キッチンに電気温水器を入れる場合、固定金具取付穴の加工と、キャビネットの固定が必要となりますので、下記部品を現地手配し、施工してください。

ただし、ミニキッチン、及びキッチンを壁面に固定できる場合は、キャビネットの通常の施工に従ってください。(現地手配品は不要です。)

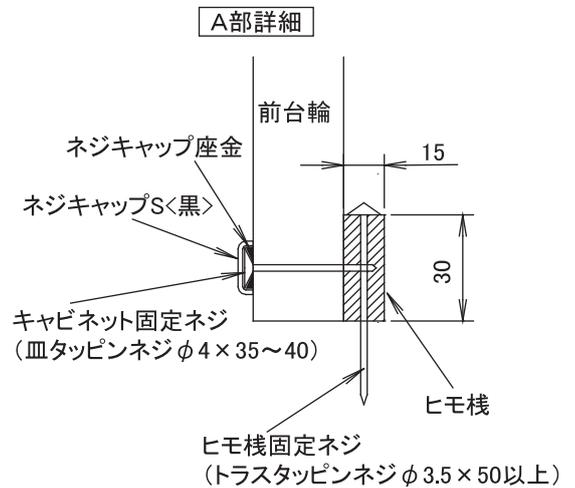
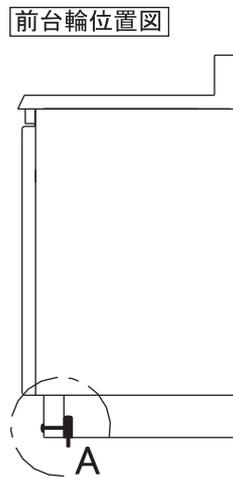
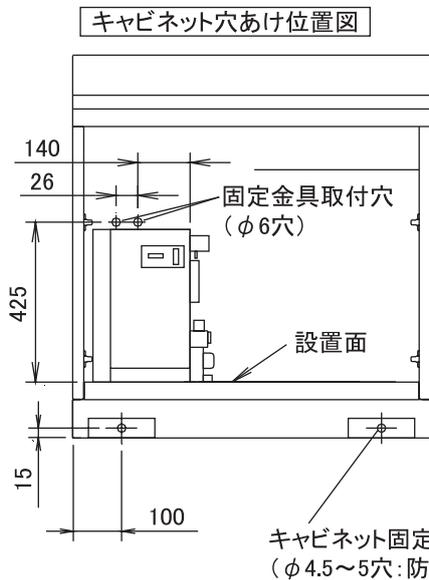


### ◆固定金具取付穴を開ける

- ・電気温水器設置位置に合わせて、キャビネット後板に固定金具取付穴を現地で穴加工してください。(電気温水器を設置位置に合わせて穴加工位置が分かりづらい場合は、下記キャビネット穴あけ位置図を参照し、穴加工位置を先にけがいてから穴加工してください。)
- ・ホーローキッチン等の金属製架台の場合、加工した穴の端面に専用防錆剤(KP防錆剤セットN)又はシリコンを塗布してください。

### ◆キャビネットの固定

- ・キャビネット前台輪の所定位置に固定用穴(下図のキャビネット穴あけ位置図 参照)を現地であけてください。ホーローキッチンの場合、必ず加工した穴の端面に専用防錆剤(KP防錆剤セットN)又はシリコンを塗布してください。
- ・前台輪が当たる位置の床面(下図の前台輪位置図 参照)にヒモ棧(現地手配)をヒモ棧固定ネジ(現地手配)で取り付けてください。
- ・前台輪からヒモ棧に対してネジキャップ座金(現地手配)を介してキャビネット固定ネジ(現地手配)で固定し、ネジキャップS<黒>(現地手配)を取り付けてください。

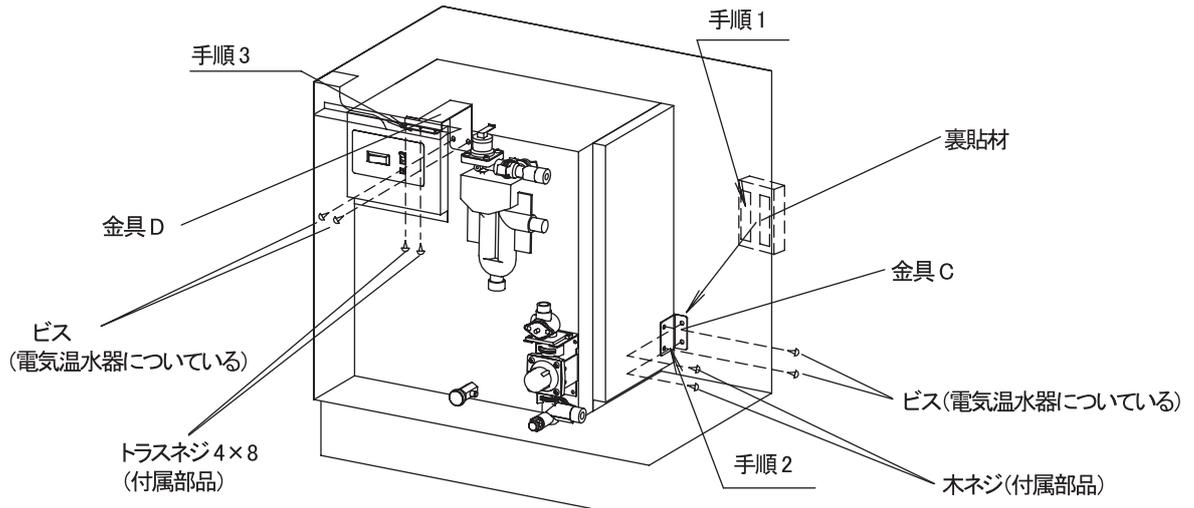


### ⚠ 注意

木製キッチン(ミニキッチンを除く)の場合、電気温水器を設置する箇所のキャビネット底板を現地で、底板裏面に支えを入れるなど、温水器満水時質量に耐えるように補強をしてください。底板がたわんだり、破損するおそれがあります。

# 据付工事-本体の設置

## ●EH-15GU2をキャビネットへ設置する方法

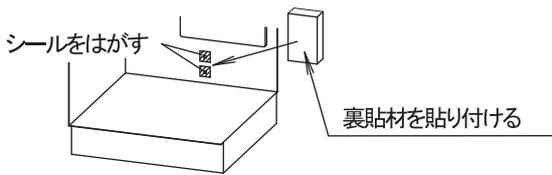


据付工事

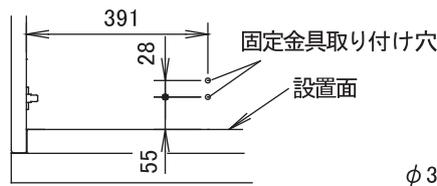
### 手順1: 裏貼材の貼り付け

- ・キャビネットの裏板に貼ってあるシールを剥し、そこに開いている穴(固定金具取り付け穴)2つが中心となるように、裏貼材を縦向きでキャビネット裏側に貼り付けてください。(裏貼材の貼り付け位置は取り付け前にゴミや水滴をふき取ってください。)
- ・固定金具取付穴がない場合は、下図(穴加工位置図)を参照し、穴加工してから施工してください。必ず加工した穴の端面に専用防錆剤(KP防錆剤セットN)又はシリコンを塗布してください。
- ・裏貼材にφ3程度の下穴を開けてください。

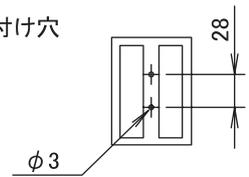
シール位置



穴加工位置図



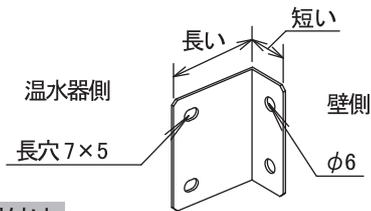
裏貼材下穴ピッチ



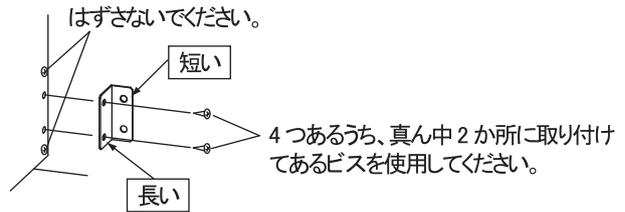
### 手順2: 金具Cの取り付け(金具Cには向きがあります。)

- ・電気温水器をキャビネットの左はしに寄せて奥まで入れてください。しっかり奥まで入れないと、固定できないことがあります。
- ・金具Cを用いて電気温水器とキャビネットを固定します。温水器側は温水器についているビスを使用してください。(取り付け箇所は下図を参照してください。)
- ・キャビネット側は木ネジ(付属部品)を使用して固定金具取り付け穴に固定してください。

金具C 取り付け向き

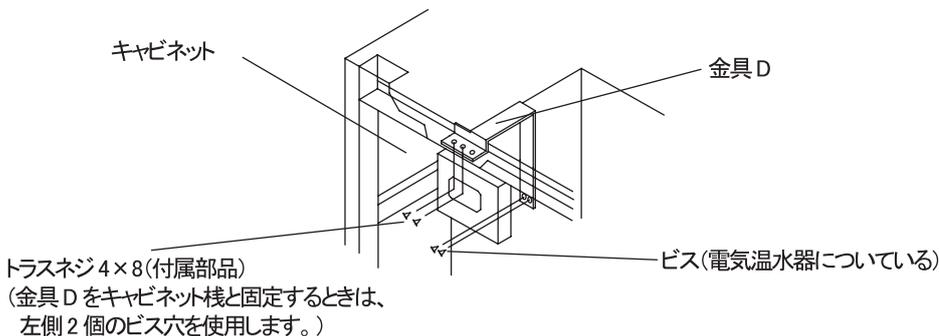


金具C 取り付け箇所



### 手順3: 金具Dの取り付け

- ・金具Dをキャビネット棧の内側から穴位置を合わせて、トラスネジ4x8(付属部品)を使用して固定してください。
- ・電気温水器についているビスを使用し、金具Dと電気温水器前面を固定してください。
- ※キャビネット棧には固定用のビス穴があらかじめ開けてあります。
- ※電気温水器についているビスとトラスネジ4x8は同じものです。

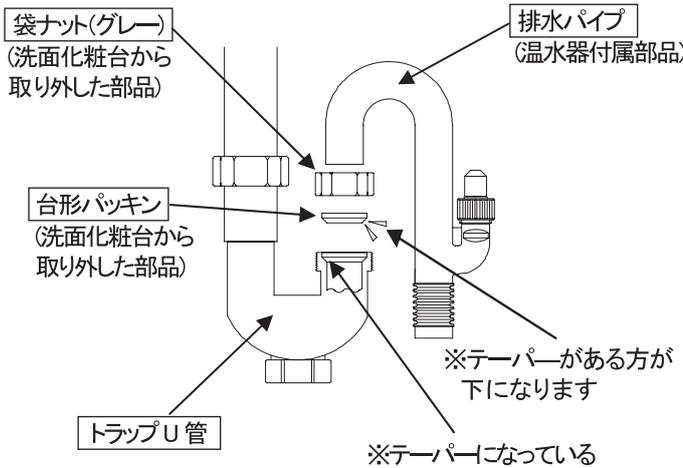


# 据付工事-排水部品の取り付け

## ●排水パイプの取り付け

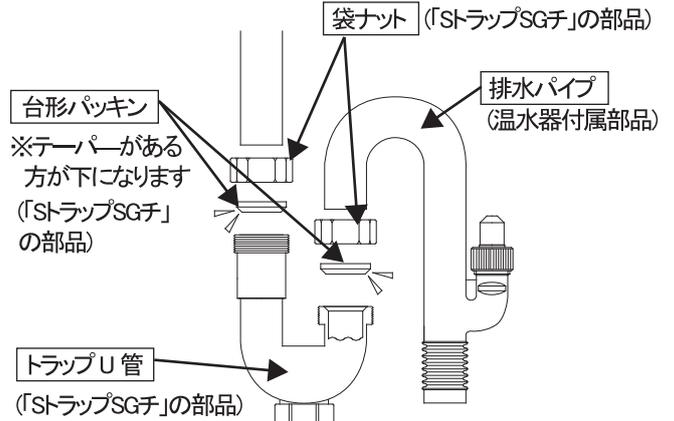
排水パイプ(付属部品の接続は、洗面化粧台のトラップU管により取り付け方法が違いますので、確認して実施してください。

**Aタイプ** (U管が台形パッキン仕様の場合)



- ・袋ナットと台形パッキンは、洗面化粧台から取りはずした部品を使用します。
- ・台形パッキンの方向を間違えないでください。(テーパーパーがある方を下にします。)

**Bタイプ** (U管が平パッキン仕様の場合)



- ・「ストラップSGチ」のS管は不要ですのではずしてください。(袋ナット、台形パッキンは使用します。)
- ・洗面からの排水用パイプにトラップU管を取り付けます。
- ・トラップU管に温水器付属部品の排水パイプを取り付けます。(「ストラップSGチ」で取りはずした、袋ナット、台形パッキンを使用します。)

### ⚠ 注意

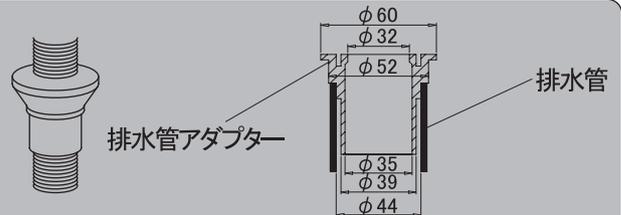
- ・U管の袋ナットは、パイプレンチ等の工具を使用せずに手で締め付けてください。工具で無理に締め付けると、袋ナットが破損するおそれがあります。
- ・U管接続用の台形パッキンは、向きを逆さしたり、ゆがんだ状態で締め付けしないでください。水漏れの原因になります。
- ・排水パイプをトラップU管につきあたるまで差し込んでください。差し込みが浅いと水漏れの原因になります。

## ●排水管アダプターの取り付け

排水パイプのフレキシブルホース部に排水管アダプター(洗面化粧台の部品)を通し、排水管に接続してください。

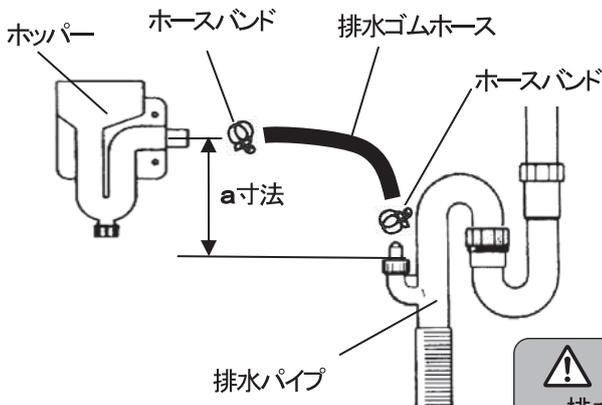
### ⚠ 注意

- ・排水管アダプターは、内径40、44、51の3種類の排水管に接続できます。すき間ができると臭気や湿気が漏れるおそれがありますので、完全にシールしてください。

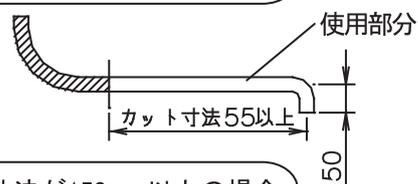


## ●排水ゴムホースの接続

排水ゴムホースは片側をカットして使用します。右図に従いカットし、下図のように接続してください。



a寸法が150mm未満の場合



a寸法が150mm以上の場合



### ⚠ 注意

- ・排水ゴムホースは必ず電気温水器から排水パイプへ下り勾配とし、たるみのないよう接続してください。水漏れの原因になります。
- ・排水ゴムホースのカットは、上記要領を参考にしてください。
- ・カット寸法は表記寸法以上を必ず確保してください。

# 据付工事-湯水混合せん、給水口との接続

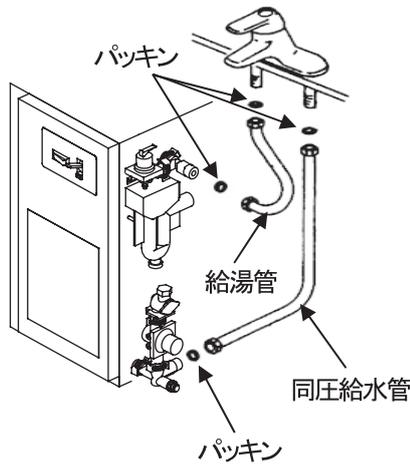
## ●配管接続について

- ・配管接続する前に、必ず配管内のゴミを除去してから流水、通水の確認を行ってください。故障や水漏れの原因となります。
- ・温水器と接続する配管はステンレスフレキ管をご使用ください。  
※総合カタログの”小型電気温水器組込対応表”記載の洗面に入れる場合はフレキ管セット(純正別売部品)をご使用ください。  
※キッチン等に入れる場合は現地手配してください。(フレキ管セットを使用する場合は、長さを確認のうえご使用ください。)

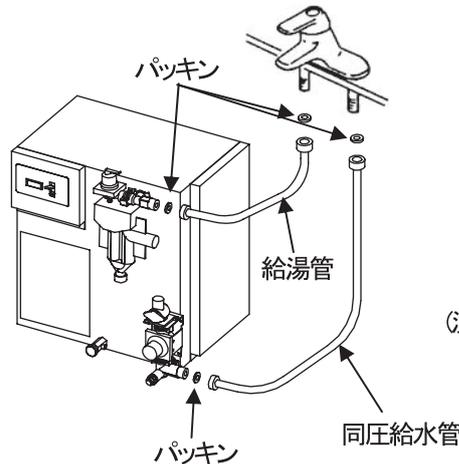
## ●湯水混合せんとの接続

- ・湯水混合せんは機種によって接続方法が異なりますので、湯水混合せんの説明書や下図を参考に接続してください。
- ・湯水混合せんの接続口が袋ナット等のめねじの場合、ニップル(付属部品)を使用してステンレスフレキ管と接続してください。

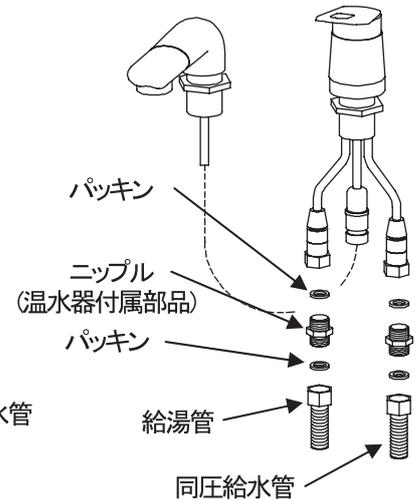
EH-15G2の場合



EH-15GU2の場合

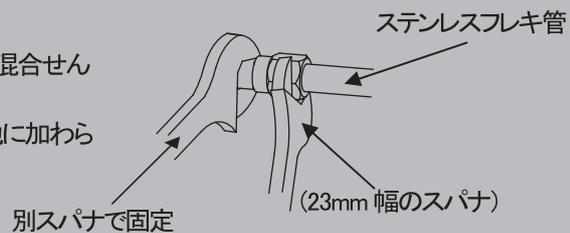


ニップルが必要な場合 (EH15G2のみ)



### ⚠ 注意

- ・寒冷地の場合は、配管内の水抜きのため、必ず湯水混合せんから電気温水器へ、下り勾配の配管にしてください。
- ・ステンレスフレキ管の接続は必ず図のように、無理な力が他に加わらないようにダブルスパナで作業してください。

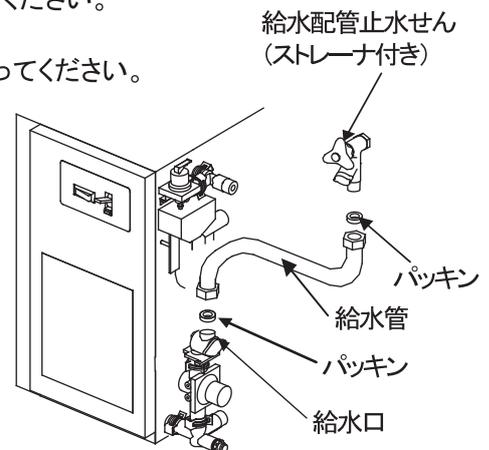


## ●給水口との接続

- ・給水配管止水せん(ストレーナ付き)と給水口を給水管にて接続してください。
- ・ストレーナ付きの給水配管止水せんを必ず使用し、お客様が操作しやすい場所に取り付けてください。また取付けの際に、ストレーナが2次側(温水器側)になるように取付けてください。(逆に取付けるとストレーナの掃除ができなくなります。)
- ・寒冷地の場合は、配管内の水抜きが必要ですので、下記のことを必ず守ってください。
  - ① 給水配管止水せんは水抜き可能な寒冷地仕様のものを使用する。
  - ② 給水口から給水配管止水せんへ下り勾配になるようにする。

### ⚠ 注意

- ・給水配管を接続する前に必ず、配管内のゴミなどを取り除くため給水配管止水せんを開け十分に通水(20L程度)してから接続してください。ゴミが機器内に入ると、故障や水漏れの原因となります。



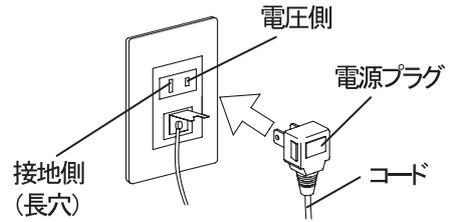
※代表としてEH-15G2を示します。

## 凍結予防工事

- ・凍結のおそれのある地域では、給湯・給水配管に凍結予防工事を行ってください。
- ・凍結予防工事には水道凍結防止ヒーターをご利用ください。
- ・配管工事終了後、配管接続部での水漏れのの有無を確認してから、凍結予防工事を行ってください。
- ・配管が凍結すると電気温水器が使えないばかりか、減圧弁、逃し弁などの破損や場合によっては温水器の変形、破損を引き起こすことがあります。

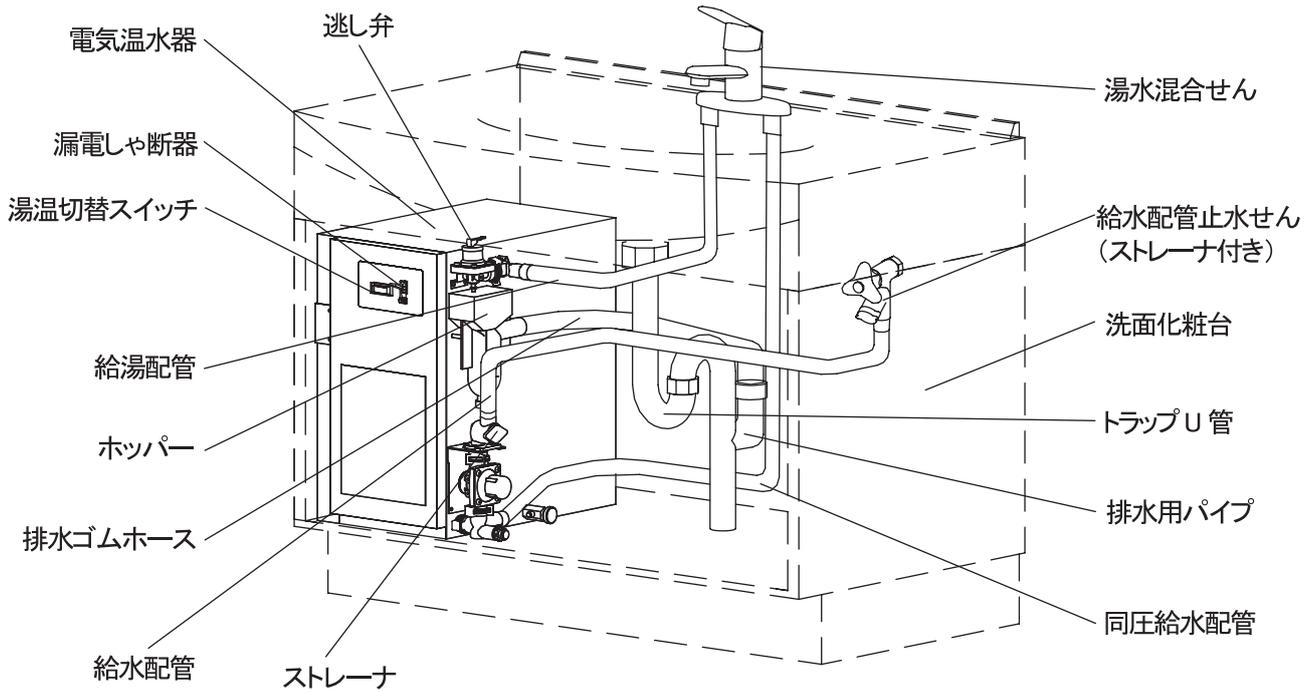
# 電気工事

- ・温水器に給水する前は、絶対に通電しないでください。
- ・電気温水器のアース線をアースターミナル付コンセントのアース端子に確実に接続するなどしてD種接地工事を確保してください。
- ・水道管、ガス管への接地および、他器具用アースとの共用はしないでください。
- ・温水器専用の15A以上のコンセントを使用してください。
- ・電源プラグは、必ずコード側が下になるようにして、コンセントに根元まで確実に差し込んでください。



## 試運転

### 設置完成図



※代表として、EH-15G2 を表示します。

### 流水・通水の確認

#### ⚠ 注意

- ・電気温水器のタンクが満水になるまで絶対に電源を入れないでください。空だきしてヒーターが故障します。
- ・凍結のおそれのある地域では、配管に凍結予防工事を行ってください。凍結予防工事には水道用の凍結防止ヒーターをご使用ください。

#### ●流水・通水の確認を次の手順で実施し、水漏れがないことをチェックしてください。

- ①各配管、排水が確実に接続されていることを確認後、給水配管止水せんを開けてください。
- ②湯水混合せんの温度調節レバーを水側全開にして、ハンドルを開けて水が出ることを確認してください。
- ③湯水混合せんの温度調節レバーを湯側全開にして、ハンドルを開けてください。このとき吐水口から水は出ませんが、電気温水器のタンクに給水されています。
- ④吐水口から勢いよく水が出れば、電気温水器のタンク内は満水ですので、湯水混合せんの水を止めてください。
- ⑤配管接続部から水漏れがないか確認してください。

#### ●逃し弁からの排水と排水配管の点検をします。

- ①逃し弁のレバーを上げて膨張水排水口より水が出ることを確認します。
- ②排水配管からの水漏れがないか確認してください。
- ③逃し弁のレバーを下げて、膨張水排水口の水が止まることを確認してください。



#### ⚠ 注意

- ・逃し弁の手動レバーを操作するときは、手動レバーをしっかりとつまんで操作してください。しっかりとつままないで操作した場合、手動レバーと弁の間に指をはさむおそれがあります。

# 試運転

## 通電の確認

●通電の確認を下記手順に従って行ってください。

※各部の操作方法は、温水器本体に付属されている取扱説明書を参照してください。

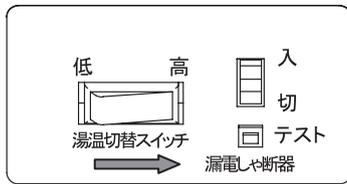
**⚠ 注意** ・温水器のタンク内が空の状態では絶対に通電しないでください。温水器が破損します。

- ①電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ②温水器本体の漏電しゃ断器を「入」にして、湯温切替スイッチが点灯することを確認してください。
- ③漏電しゃ断器のテストボタンを押して、漏電しゃ断器のレバーが「切」になることを確認してください。
- ④漏電しゃ断器を再び「入」にしてください。

## 試運転完了後のお願い

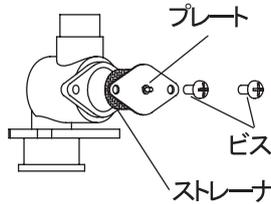
- ・工事が完了後、取扱説明書にそって、お客様に使用方法、お手入れの仕方などを説明してください。
- ・湯温設定はお客様に確認の上、ご希望の設定に切り替えてください。(下図参照)
- ・温水器をすぐに使用しないときは、取扱説明書の「使用しないときは」(長期不使用時)に従ってタンク内の水を排水してください。
- ・この工事説明書は、取扱説明書、排水用ビニールホースA,Bとともにお客様に保管していただくようにしてください。
- ・試運転終了後、ストレーナ及び給水配管止水せんのストレーナを掃除してください。
- ※ストレーナのはずし方は下記を参照してください。

### 操作部図



※湯温切替スイッチは始めは低設定になっています。高設定で使用する場合はスイッチを切り替えてください。

### ストレーナのはずしかた



- ①給水配管止水せんを閉じ、湯水混合せんの湯側を開け、水が出てなくなったら、閉めます。
- ②湯水混合せん、逃し弁がしっかりしまっていることを確認してください。
- ③ビスをはずし、プレートをはずします。  
※プレートの奥にストレーナがついています。ストレーナをはずすと配管内の残水がでますので注意してください。(容器などで受けてください。)

## 工事完了チェックシート

- ・工事が完了しましたらお客様に温水器を引き渡す前に、工事の確認と試運転を行ってください。
- ・試運転は、必ずお客様に立ち会っていただき、運転操作はもとより操作の注意、凍結予防方法などをよく説明し、理解を深めていただくようにしてください。

	確認内容	チェック
据付工事	保守点検、交換のできるスペースがありますか。	
	火気、引火物から離れていますか。	
	据え付け場所の強度は満水時質量に十分耐えますか。	
	温水器本体は洗面化粧台に付属の固定金具で固定してありますか。	
	外気温が0℃以下になる場所に据え付けられていませんか。	
配管工事	温水器専用ストレーナ付きの給水配管止水せんはありますか。	
	排水用パイプはきちんと取り付けられていますか。排水ゴムホースは排水用パイプに接続されていますか。	
	排水ゴムホースは下り勾配になっていますか。ホースがつぶれていませんか。	
	給湯配管、給水配管、同圧給水配管接合部のシール材は耐水性、耐熱性に問題ない材質ですか。	
	凍結のおそれのある配管すべてに凍結予防工事を行っていますか。	
	排水配管は90℃の温度に耐える材料を使用していますか。	
	給水口のストレーナの掃除は行いましたか。	
給水配管止水せんのストレーナの掃除は行いましたか。		
電気工事	電源はAC100Vですか。コンセントの定格容量は適切ですか。	
	アース線の接地工事は確실히行われていますか。	
	電源プラグがコンセントに根元までしっかりささっていますか。	
その他	配管各部からの水漏れはないですか。	
	じゃ口(湯水混合せん)から出湯したとき排水部材(トラップ)からの水漏れはないですか。	
	逃し弁を操作し排水したときホッパーから排水があふれることはないですか。	
販売店様、工事店様記入		
年 月 日 に私が責任を持って試運転を行いました。		
お客様氏名:	様 店名:	
型式:	連絡先:	
試運転確認者名:		

**タカラスタダード株式会社**

〒536-8536 大阪市城東区鳴野東1丁目2番1号



17D-4  
EH-G2 コウセツ